

資料 1

写

平成27年8月20日

鳥取市長 深澤 義彦 様

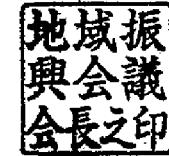
気高地域振興会議 会長 横田 昭男



鹿野地域振興会議 会長 田中 文子



青谷地域振興会議 会長 高橋 克己



「鳥取市西部地域への企業誘致」に関する意見について

鳥取市地域振興会議条例第3条第1項第3号の規定により、鳥取市西部地域の振興に関し、西部地域の地域振興会議の総意として、別紙のとおり意見書を提出いたします。



「鳥取市西部地域への企業誘致」に関する意見書

市町村合併から10年が経過する中、西部地域では、人口減少が進み地域活力の低下などが顕在化しつつあり、地域の活性化を図るためには若者等の働く場の確保が重要な課題となっています。

西部地域では、市町村合併以前から企業の誘致に取り組んできましたが、景気の低迷、交通網の未整備、大規模な工業用地不足など、近年は企業誘致の実績がない状況となっています。一方で、鳥取自動車道の全線開通や地震等のリスク分散の適地として本市の立地環境が評価される中、河原インター山手工業団地や布袋工業団地の拡張など、企業立地の受け皿が整備され、順調に企業誘致が進められています。

西部地域についても、山陰道鳥取西道路が平成29年度には青谷ICから吉岡温泉IC間が開通し交通アクセスが飛躍的に向上するこの機会を好機として捉え、本市の均衡ある発展に資するため、工業団地の整備及び企業誘致に積極的に取り組んでいただきますよう、西部地域の地域振興会議の総意として要望いたします。

西部地域の地域振興会議から提出された 「鳥取市西部地域への企業誘致」に関する意見書について

企業誘致による雇用の創出や地域経済の活性化は、若者やU J I ターン者が増加するなど、鳥取で働きたい、帰ってきたいと思われるような魅力的な地域になるための有効な手段と考えます。

近年、本市の企業誘致が進む中で、新たな工業用地が必要となっており、まず鳥取自動車道が開通した南部地域において工業団地の造成を進め、多くの企業の立地に繋げていきたいと考えていますが、現在、本市は多くの誘致案件を抱えており、造成中の「河原インター山手工業団地」「布袋工業団地」の分譲も早々に進んでいくものと想定されます。

将来的に、次の新たな工業団地が必要となる場合、西部地域は現在整備中の山陰道（鳥取西道路）の開通により、企業の立地場所としての魅力が増すと考えており、企業立地の状況や今後の誘致案件等を踏まえ関係機関や地域の皆様の協力をいただきながら検討していきたいと考えます。

（所管：経済観光部企業立地・支援課）



平成28年1月21日

鳥取市長 深澤 義彦 様

気高地域振興会議

会長 横田 昭男



浜村温泉館の早期再開に関する意見について

鳥取市地域振興会議条例第3条第1項第3号の規定により、気高地域の振興に関し、気高地域振興会議の総意として、別紙のとおり意見書を提出いたします。



浜村温泉館の早期再開に関する意見書

浜村温泉は、今から約500年前に開かれた温泉地で、豊富な湯量とリュマチ、神経痛、婦人病、胃腸病、皮膚病などに効能がある名湯として、多くの観光客が訪れる気高地域を代表する観光資源としての役割を果たしてきました。

しかしながら、最盛期の昭和50年代には14軒営業していた温泉旅館が、年々減少して2軒となり浜村温泉街の振興が喫緊の課題となっていました。

このような中で、浜村温泉活性化の核として、平成15年に温泉街の東側に浜村温泉館が開設されたところです。以来、町内外からたくさんの方が訪れる拠点施設として親しまれてきたところですが、昨年10月に施設老朽化のため本年4月1日から当分の間、休館することが発表され、その点検、調査結果に基づき今後の施設のあり方が検討される予定と伺ったところです。

本地域において、浜村温泉は地域の宝であり、浜村温泉の活性化のシンボルとして、浜村温泉館はなくてはならない重要な施設です。

さらに、鳥取市新市域振興ビジョンに位置づけている「交流のまちづくり」を実現するためにも、平成29年度中に開通予定の山陰道鳥取西道路の浜村・鹿野温泉IC（仮称）から浜村温泉へ観光客等呼び込む重要な役割を果たす施設と考えています。

なお、浜村温泉館周辺には4カ所の共同浴場がありますが、当該集落の人のみが利用でき、部外者の人を制限しているため代替施設とはなり得ません。

については、本市の均衡ある発展に資するため、速やかに浜村温泉館の点検、調査に着手し、改修並びに早期再開を図っていただきますよう、気高地域振興会議の総意として要望いたします。